

**2/8** 高梁総合福祉センター周辺  
寒さなんて吹きとばせ!

「第36回市民健康づくり愛らぶ高梁ふれあいマラソン」(同実行委員会主催)が開かれ、城下町コース(10キロ)、愛らぶコース(5キロ)、ふれあいコース(3キロ)の3コース12部門に819人が出場。沿道からの声援を受け、城下町を駆け抜けました。城下町コースの優勝者は、11月8日開催の「第1回おかやまマラソン」に招待されます。



城下町コース(10キロ)のスタート



沿道の声援を受け走り抜ける



仲良くそろってゴール

**1/31** 文化交流館  
郷土の偉人山田方谷を学ぶ



方谷の功績を分かりやすく話す渡辺さん

「教育講演会」(高梁中央公民館・高梁地域まちづくり推進委員会主催)が開かれ、約180人が山田方谷の功績を基礎から学びました。

本町出身で、山田方谷に学ぶ会代表世話人の渡辺道夫さんが「入門 山田方谷」と題し講演。幕末の備中松山藩で藩政改革を成し遂げた、方谷の手腕や生涯を、かかわった人物と共に分かりやすく解説しました。

**2/3** 成羽総合福祉センター  
防災について考える



災害時の対応を話し合う参加者

「高梁市地域防災研修会」(市まちづくり協議会連絡会・市主催)が開かれ、約120人が災害時の行動などを学びました。

平成25年8月に豪雨災害を経験した、島根県邑南町日貫公民館長の鹿野好明さんが講演。「日頃から、どこが危険かを知っておくことが大切」と話しました。その後、参加者で小グループを作り、災害時の避難などの対応を話し合いました。

**1/17** 文化交流館  
芸術で障害を理解しよう



劇団「くらっぷ」の演技

「高梁の小さな芸術祭～たかはし福祉フォーラム2014～」(市・市自立支援協議会主催)が開かれ、約130人が障害について理解を深めました。

知的ハンディがある人とその家族で構成する、奈良県の劇団「くらっぷ」が公演。ユーモアあふれる演技で、会場に笑いを誘いました。

障害者支援団体によるバザーや、特別支援学校の紹介パネル展示もありました。

**1/25** 岡山市  
思いを胸にたすきをつなぐ



駅伝に出場した高梁市チームの皆さん

「第4回晴れの国岡山駅伝」(岡山陸上競技協会主催)が開催され、3回目の参加となる高梁市を含め、21市町から26チームが出場しました。

岡山市の旭川・百間川ランニングコース(9区間42.195キロ)を中学生4人、高校生4人、専門学校生1人が、ゴールを目指して、たすきをつなぎました。力走の結果、総合17位の成績を収めました。

**1/17** 市民体育館  
力を合わせジャンプ!



元気にジャンプする児童たち

「第27回体力づくりなわとび大会」(高梁ライオンズクラブ主催)が開かれ、高梁市、新見市、吉備中央町の小学生が、日ごろの練習の成果を発揮しました。

8人が1組となり、2度跳んだ回数を競う団体の部に36チームが出場。個人戦では420人が学年ごとに分かれ、連続して飛ぶ時間を競いました。団体戦の優勝は、成羽小の「宝超特急」。

**1/17** 総合文化会館  
阪神淡路大震災から20年



熱心に講演を聞く参加者

防災について考える「高梁防災タウンミーティング」(市青年経済協議会主催)が開かれ、約60人が参加しました。

東三男・市総務課長補佐が「災害に強いまちづくりをめざして」と題し講演しました。災害への備えや心構えについて、過去の事例を紹介しながら、「災害はどこでも起こりえると考え、自分の命は自分で守ることが大切」と締めくくりました。